

第2次白岡市環境基本計画【改訂版】の見直し方針

1. 計画見直しの趣旨

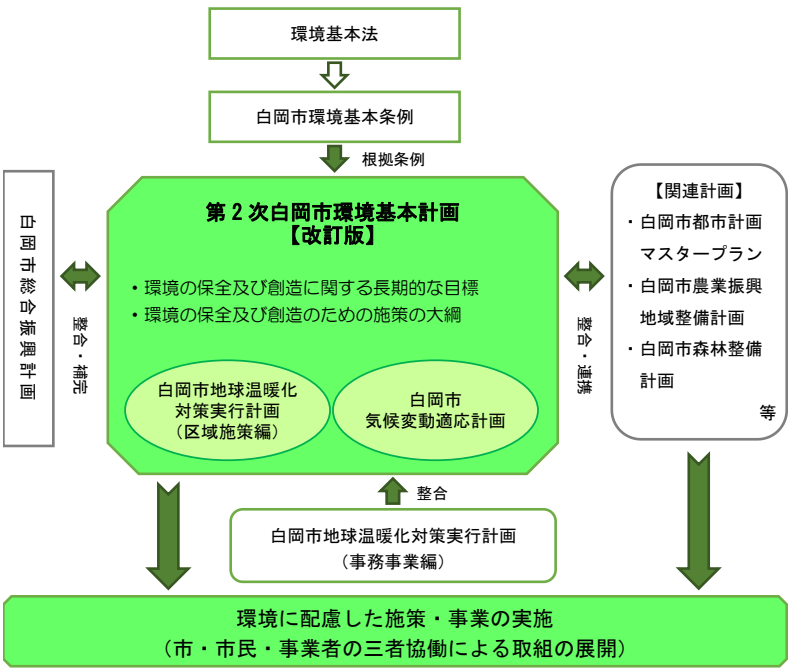
①第2次白岡市環境基本計画の改訂

- 令和3年3月に現行計画である「第2次白岡市環境基本計画」を策定した。
- 目標年次は令和12年度であり、今年度が中間見直し準備期間となる。
⇒令和8年度以降の計画として見直し（改訂版の策定）を行う。

②白岡市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定

- 白岡市は令和5年6月にゼロカーボンシティ宣言を行った。
- 今後は温室効果ガスの削減に向けた取組をより一層進めていくこととなる。
⇒環境基本計画の改訂にあわせて「白岡市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定する。
- なお、計画には「白岡市気候変動適応計画」を包含する。

年度		計画の期間									
計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
第2次白岡市環境基本計画		【現行計画】					【改訂版】				
白岡市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）											
白岡市気候変動適応計画											



■計画の位置付け

2. 計画見直しの根拠

現行計画における見直しの定義では、「計画期間のうち前期を5年間、後期を5年間とし、取組の進捗状況や社会情勢を踏まえた中間見直しを行う」としている。

【社会情勢の変化による見直しの必要性】

- 地球温暖化及び気候変動の状況は近年大きく変わっており、対策に向けた取組が世界中で急速に進んでいる。
- 日本においても、法の改正や計画の改訂が行われ、地球温暖化対策や気候変動適応に向けた取組が強化されている。
- 令和6年5月には日本の環境施策の大綱を定める「第六次環境基本計画」が閣議決定された。

【市の取組を踏まえた見直しの必要性】

- 現行計画において示している施策、数値目標について、現時点ですでに完了しているもの、目標を達成しているものが見られる。
- 一方で、新型コロナウイルス等の影響により目標達成が困難なものや、現在は実施していない施策が見られる。
- 白岡市は令和5年6月にゼロカーボンシティ宣言を行ったほか、「都市近郊自治体における脱炭素化モデル推進事業」が、環境省の重点対策加速化事業（地域脱炭素移行・再エネ推進交付金）に選定された。

【計画の運用における課題を踏まえた見直しの必要性】

- 現行計画に記載された施策については毎年度「進行管理票」でチェックを行い、白岡市環境審議会へ報告するとともに、HPで公表している。
- 計画に掲げた施策を着実に推進していくためには、引き続き毎年度の「進行管理」が重要となる。

【第2次白岡市環境基本計画【改訂版】の策定】

これらのことから、取組の進捗状況や社会情勢を踏まえた中間見直し（改訂）を行うとともに、リーディングプロジェクトや数値目標による進行管理は引き続き実施し、着実な施策の展開を図る。

また、「白岡市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」及び「白岡市気候変動適応計画」を策定し、地球温暖化や気候変動に関する取組をより一層進めていく。

3. 進捗状況

(1) アンケート調査の実施【令和6年7月31日から8月23日まで】（過年度実施）

※令和7年3月17日に環境審議会へ調査結果を報告済み

環境に対する市民や事業者の意識や要望を把握するため、無作為に抽出した市民（1,500人）及び市内事業者（150か所）を対象とした環境に関するアンケート調査を実施した。

調査方法は郵送またはwebによるものとし、回収率は市民が32.0%（480人/1,500人）、事業者が36.6%（55か所/150か所）であった。

環境に関するアンケート調査は以前（R2、H27）にも実施しており、可能な限り経年比較を行うことで市民や事業者の意識の変化を把握することとした。

(2) 取組及び数値目標の実施状況の確認【令和7年9月16日から10月8日まで】

現行計画に掲載されている「望ましい環境像を実現するための三者協働の取組」のうち、「市の取組（環境施策）」及び「数値目標」について、担当各課に実施状況を報告していただいた。

(3) 白岡市環境審議会

●第1回環境審議会【令和7年7月15日】

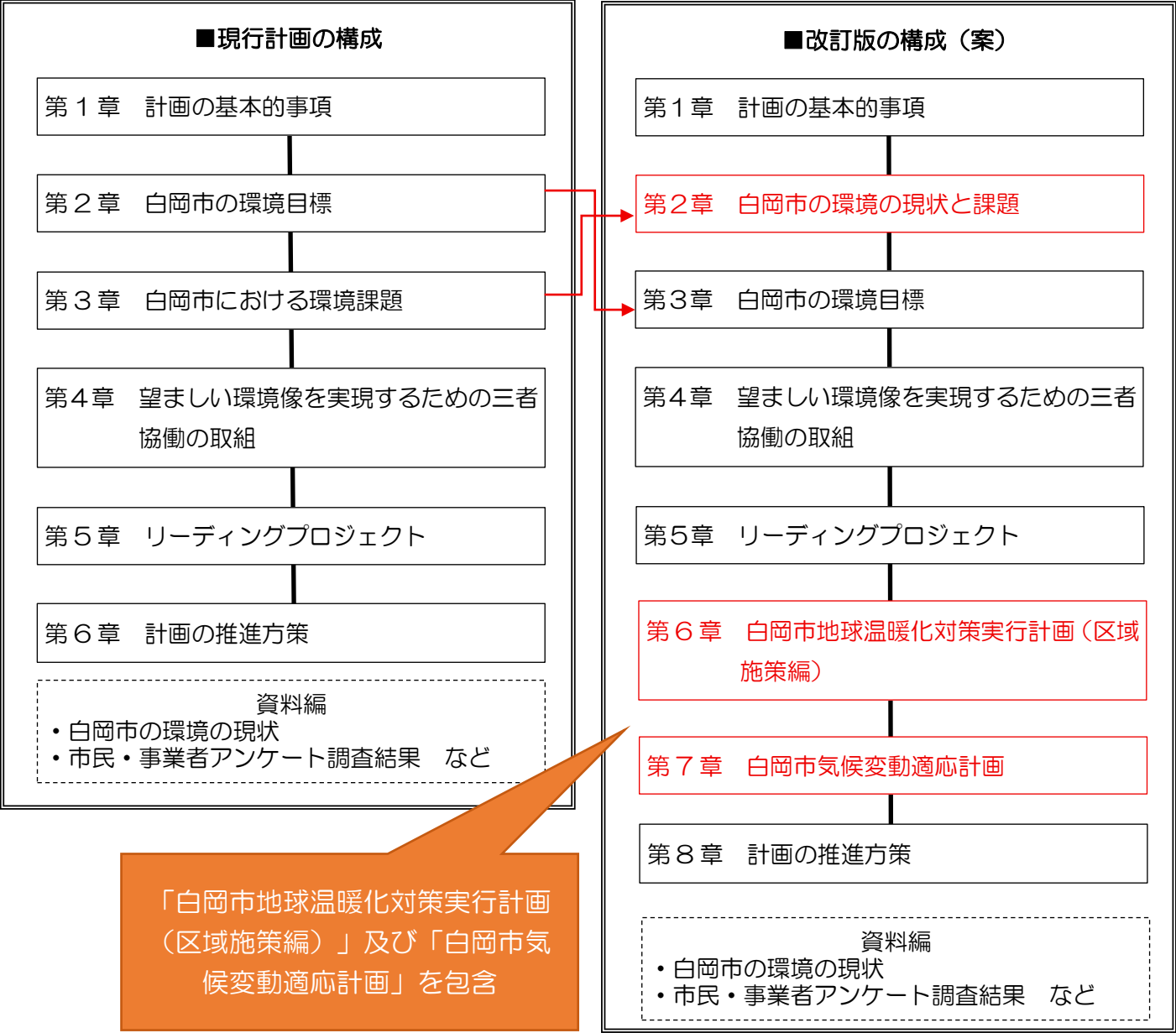
白岡市環境基本計画の取組やリーディングプロジェクト関連事業における、令和6年度の実績及び令和7年度の当初事業について環境審議会に報告し、委員の方々に意見をいただいた。

4. 改訂版の構成（事務局案）

【見直しの方針】

- 現行計画期間中における中間見直しの位置付けとなるため、望ましい環境像や体系の基本的な部分は現行計画を踏襲する。
- 施策をはじめとする三者協働の取組や数値目標についても現行計画を踏襲することを基本とし、担当各課の実施状況を踏まえて、現状に合っていないもの（現在は実施していない取組、すでに達成している数値目標等）を修正する。
- 今後も着実に施策を推進するため、リーディングプロジェクトや数値目標による進行管理は引き続き実施する。
- 第2次計画の改訂に当たっては、「白岡市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」及び「白岡市気候変動適応計画」を包含する。
- 概要版や子ども版も作成し、多くの市民に理解してもらえる分かりやすい計画を目指す。

【計画の構成】



🔍改訂のポイント

- ✓ 新しく第6章に「白岡市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」、第7章に「白岡市気候変動適応計画」を包含する。
- ✓ 環境の現状と課題は「第2次白岡市環境基本計画」と「白岡市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の共通のよりどころとなるため、概要を本編の序盤に記載する。
※環境の現況やアンケート結果の詳細を資料編に記載することは現行計画と同様

5. 各章における記載の内容

●第1章 計画の基本的事項（素案：P1～P8）

計画の趣旨や期間、対象とする環境の範囲など本計画の基本的な事項について示す。

【ポイント】

- ⇒ SDGs やパリ協定等をきっかけとして環境課題に対する国内外の動向は大きく変化している。
- ⇒ 白岡市は令和 5 年 6 月に「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、脱炭素の実現を目指すことを示した。
- ⇒ 改訂に当たっては、「白岡市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」及び「白岡市気候変動適応計画」を包含する。
- ⇒ 「白岡市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」における温室効果ガス排出量の削減目標については、国の目標年に準拠し、令和 12 年（2030 年）とする。

●第2章 白岡市の環境の現状と課題（素案：P9～P22）

本市の環境の現状、市民等のアンケート調査結果について整理するとともに、それらを踏まえて本市の環境に関する課題を示す。

【ポイント】

- ⇒ 白岡市の環境の現状についての概要を示す。（詳細は資料編に記載）
- ⇒ 環境に関する市民・事業者アンケート調査の結果について、主要な項目を抜粋して示す。（詳細は資料編に記載）
- ⇒ 自然環境、生活環境、快適環境、地球環境、人づくりに関わる課題を記載するとともに、各課題には関連するアンケート調査結果を抜粋して記載する。

●第3章 白岡市の環境目標（素案：P23～P26）

白岡市が将来目指すべき望ましい環境像、それを実現するための目標について示す。

【ポイント】

- ⇒ 望ましい環境像、基本目標、取組の目標は現行計画を踏襲する。
- ⇒ 基本目標と取組の目標については関連する SDGs の目標を示し、各取組は SDGs に資するものとして位置付ける。

●第4章 望ましい環境像を実現するための三者協働の取組（素案：P27～P62）

望ましい環境を実現するために市・市民・事業者が取り組むべきことについて示す。

【ポイント】

- ⇒ 取組の体系図については、章の冒頭に記載する。
- ⇒ 基本的には現行計画の記載内容を踏襲し、担当各課の実施状況を踏まえて、現状に合っていないもの（現在は実施していない取組、すでに達成している数値目標等）を修正する形で記載する。

●第5章 リーディングプロジェクト（素案：P63～P72）

望ましい環境像を実現するために、計画推進の初動を促し、先導的な役割を果たす取組（リーディングプロジェクト）を示す。

【ポイント】

- ⇒ 現行計画を踏襲し、「脱炭素社会の実現」、「生物多様性の保全・創出」、「環境を学び行動する市民を増やす」の3つをリーディングプロジェクトとして位置付け、今後強力に推進していく。
- ⇒ 引き続き、このリーディングプロジェクトを中心とした進行管理を行う。
- ⇒ 特に関連する数値目標を出来る限り位置付け、取組の進捗度の進行管理につなげる。

●第6章 白岡市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（素案：P73～P110）

「白岡市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定し、本市から排出される温室効果ガスに関する現況及び将来の推計、削減目標、削減に向けた取組等について示す。

【ポイント】

①計画の背景

- ⇒ 近年は地球温暖化や気候変動の問題が深刻化しており、世界中で取組が進められている。
- ⇒ 日本国内においても法整備や計画の策定が行われており、国家レベルで温室効果ガスの削減、脱炭素の実現に向けて動き出している。
- ⇒ 白岡市においては、令和 5 年 6 月に「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、令和 32 年までに市内における温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指すこととした。

②温室効果ガス排出量の推計

⇒ 白岡市における二酸化炭素排出量の現況推計及び将来推計の結果について示す。

- ・現況推計：＜令和 4 年度＞205.0 千 t -CO₂／平成 25 年度比 -15.0%減少
- ・将来推計（BAU ケース）：＜令和 12 年度＞214.3 千 t -CO₂／平成 25 年度比 -11.2%減少
- ・将来推計（対策ケース）：＜令和 12 年度＞156.7 千 t -CO₂／平成 25 年度比 -35.1%減少

③温室効果ガス排出量の削減目標

⇒ 令和 12 年度の二酸化炭素排出量の削減目標は、国の削減目標と同じ「平成 25 年度（2013 年度）比で 46%削減」とする。

④温室効果ガスの削減に向けた取組

- ⇒ 令和 32 年のゼロカーボン達成に向けて取組を進めるための共通指針となる「脱炭素ビジョン」を示す。
- ⇒ 本市の地域課題を整理するとともに、地域課題を解決するための対応策・基本方針を示す。
- ⇒ リーディングプロジェクトとして、環境省の重点対策加速化事業（地域脱炭素移行・再エネ推進交付金）に選定された「都市近郊自治体における脱炭素化モデル推進事業」を推進する。

●第7章 白岡市気候変動適応計画（素案：P111～P118）

「白岡市気候変動適応計画」を策定し、近年の気候変動に対する適応策について示す。

【ポイント】

- ⇒ 近年、気候変動による影響が世界中で現れており、人類や全ての生き物にとって重大な問題となっている。
- ⇒ 地域特性を踏まえた気候変動への適応を推進するため、国の評価を踏まえて、白岡市における気候変動の影響を評価した。
- ⇒ 気候変動の影響の現状と将来予測される影響の評価結果を基に、気候変動への適応策を示す。

●第8章 計画の推進方策（素案：P119～P121）

計画を進行管理するための考え方、方法、組織体制について示す。

【ポイント】

- ⇒ 環境マネジメントサイクル（PDCA サイクル）により進行管理を行う。
- ⇒ 現行計画に引き続き、リーディングプロジェクトを中心とした進行管理を行い、計画の進捗状況や目標達成状況については白岡市環境審議会へ報告するとともに、ホームページ等で公表する。

6. 計画の体系とリーディングプロジェクト

